

平成 25 年 10 月 22 日 (火)

平成 25 年第 3 回岸和田市貝塚市清掃施設組合議会定例会

会 議 録

岸和田市貝塚市清掃施設組合

平成25年第3回岸和田市貝塚市
清掃施設組合議会定例会議事日程

〔平成25年10月22日（火）〕
午後1時30分 開 議

第1 会期決定について

第2 認定第1号 平成24年度岸和田市貝塚市清掃施設組合決算認定を求めるに
ついて

出席議員（13名）

1番	石田	亀太郎	2番	稲田	悦治
3番	河合	馨	4番	来原	佳一
5番	鳥居	宏次	6番	中井	良介
8番	米田	貴志	9番	明石	輝久
10番	阪口	勇	11番	田中	学
12番	松波	謙太	13番	森	美佐子
14番	藪内	留治			

欠席議員（1名）

7番 山田 幸夫

出席議事説明員

管理者	野口	聖	副管理者	藤原	龍男
理事	出口	修司	理事	砂川	豊和
幹事	柿花	淑彦	幹事	田中	利雄
幹事	西岡	修	幹事	伊東	敬夫
幹事	坂井	永二	幹事	岸澤	慎一
幹事	頓花	隆	幹事	稲田	隆
会計管理者	青野	恵子			

出席事務局職員

事務局長	田中	一裕	事務局次長	山口	強
総務課長	樽谷	修一	管理課長	小南	和巳

午後 1 時52分開会

○議長（藪内留治君）

ただいまから平成25年第 3 回岸和田市貝塚市清掃施設組合議会定例会を開会いたします。

まず、議員出席状況を総務課長から報告させます。

○総務課長（樽谷修一君）

議員出席状況についてご報告申し上げます。

ただいまの出席議員は13名でございます。以上で報告を終わります。

○議長（藪内留治君）

ただいまの報告のとおり、出席議員13名をもちまして、会議は成立いたしておりますので、これより本日の会議を開きます。

○議長（藪内留治君）

次に、本日の会議録署名者を施設組合議会会議規則第101条の規定により、私から、6番 中井良介議員、8番 米田貴志議員を指名いたします。

○議長（藪内留治君）

次に、本定例会における議事説明員は、お手元にご配付しておりますとおりでありますので、報告いたします。

○議長（藪内留治君）

これより日程に入ります。

日程第 1、会期決定についてを議題いたします。

お諮りいたします。

本定例会の会期は、本日の 1 日といたしたいと思っております。これにご異議ありませんか。

〔「異議なし」の声あり〕

○議長（藪内留治君）

ご異議なしと認めます。よって、本定例会の会期は、1日に決定いたしました。

○議長（藪内留治君）

次に、平成25年 4 月分から 8 月分までの

5 カ月分の例月出納検査結果報告につきましては、さきに議員各位にご送付いたしておりますとおりであります。

本各件について質疑のある方は発言を願います。

〔「なし」の声あり〕

○議長（藪内留治君）

ないようですので、本報告を終わります。

○議長（藪内留治君）

次に、日程第 2、認定第 1 号平成24年度岸和田市貝塚市清掃施設組合決算認定を求めらるるについてを議題といたします。

本件に対する提案理由の説明を求めます。管理者 野口 聖君。

○管理者（野口 聖君）

上程いたされました認定第 1 号平成24年度岸和田市貝塚市清掃施設組合決算認定を求めらるるにつきまして、提案理由をご説明申し上げます。

平成24年度一般会計の決算につきまして、地方自治法第233条第 2 項の規定により、監査委員の方々にその内容についてご審査をお願いいたしましたところ、慎重なご審査を賜り、このたび、審査意見をつけて議会の認定に付した次第であります。

平成24年度一般会計の歳入決算額は40億8,962万1,219円に對しまして、歳出決算額が38億9,876万5,939円でありましたので、歳入歳出差し引き額が1億9,085万5,280円であります。

決算内容につきまして、まず歳入からご説明申し上げます。

決算額は40億8,962万1,219円となり、予算現額に對しまして1億3,130万5,781円の不足となっております。

不足となりました主なものは、分担金の3億円であります。

超過となりました主なものは、繰越金の1億2,711万8,186円と諸収入の3,338万

7,496円であります。

次に、歳出であります。決算額は38億9,876万5,939円となり、予算現額に対しまして3億2,216万1,061円の不用額が生じております。

不用額が生じた主な科目は、総務費の3億1,864万1,337円であります。

以上、一般会計の決算の概要をご説明申し上げますが、詳細につきましては、お手元にご送付いたしております決算書のほか、実質収支に関する調書、決算事項別明細書、財産に関する調書を、また監査委員の審査意見書もあわせてお届けいたしておりますので、何とぞよろしくご審議の上、認定賜りますようお願い申し上げます。

なお、決算の詳細につきましては、事務局長から説明させますので、よろしくようお願い申し上げます。

○議長（藪内留治君）

次に、補足説明を求めます。事務局長。

○事務局長（田中一裕君）

それでは、認定第1号平成24年度岸和田市貝塚市清掃施設組合一般会計決算認定を求めるについての補足説明をさせていただきます。

決算書9ページをお願いいたします。

実質収支に関する調書からご説明申し上げます。

歳入総額40億8,962万1,000円に対しまして、歳出総額38億9,876万6,000円で、歳入歳出差し引き額が1億9,085万5,000円となり、実質収支は同額の1億9,085万5,000円でございます。対前年度との増減で見ますと、歳入は5,844万3,000円、率にして1.4%の増加、歳出では3,430万4,000円、率にして0.9%の増加でございます。

次に、歳入の明細について、収入済額の欄を中心に説明させていただきます。

12、13ページをお願いいたします。

第1款分担金でございますが、34億5,000万円で、前年度と比べ1億2,000万、3.6%の増加でございます。両市の負担割合は、2割を均等割、8割を人口割で算出しておりまして、岸和田市65.008%、貝塚市34.992%となっております。この結果、13ページ備考欄上から4行目に記載のとおり、岸和田市が22億4,277万6,000円、貝塚市が12億722万4,000円でございます。

次に、第2款使用料及び手数料でございますが、2億2,190万8,537円で、前年度と比べ82万6,020円、0.4%の増加でございます。

第1項使用料でございますが、主なものは、13ページ備考欄上から9行目の附属洗車場使用料の133万60円でございます。

次に、第2項手数料でございますが、その内訳は、廃棄物の処分手数料2億2,019万3,350円でございます。

次に、第3款繰越金でございますが、1億6,671万6,186円で、前年度と比べ6,882万1,552円、29.2%の減少でございます。

次に、第4款諸収入でございますが、2億4,319万6,496円で、前年度と比べ1,173万9,167円、5.1%の増加でございます。

その主な内訳は、備考欄一番下の金属類等売払収入5,545万9,651円、受給電力量収入1億8,733万2,072円になります。

14、15ページをお願いいたします。

第5款組合債でございますが、780万円でありまして、前年度と比べ530万円、40.5%の減少でございます。

その内容は、15ページ備考欄上から4行目の大阪湾圏域広域処理場整備委託事業、いわゆるフェニックス事業の事業債でございます。

以上合わせまして、一番下の歳入合計は40億8,962万1,219円で、前年度と比べ5,844万3,635円の増加でございます。

また、予算現額42億2,092万7,000円に対しまして、収入済額との差、1億3,130万5,781円の不足は、分担金3億円の減額が主な理由でございます。

続きまして、歳出の明細についてご説明申し上げます。

16ページ、17ページをお願いいたします。

第1款議会費は、予算現額407万1,000円に対しまして、支出済額369万2,004円で、不用額37万8,996円でございます。支出の主なものは、議員報酬、旅費等でございます。

次に、第2款総務費でございますが、予算現額18億1,333万4,000円に対しまして、支出済額は14億9,469万2,663円で、不用額は3億1,864万1,337円でございます。

第1項総務費につきましては、予算現額1億8,690万1,000円に対しまして、支出済額は1億6,566万9,550円で、不用額は2,123万1,450円でございます。

第1目一般管理費につきましては、支出済額は1億5,829万6,155円で、その内訳は、17ページ備考欄右端下から2つ目、職員給与等1億4,790万6,950円で、これは職員、嘱託職員合わせて21名分の給与等及び清掃組合事務事業1,038万9,205円でございます。

職員給与等の主なものは、職員給与6,553万9,356円と手当等5,839万383円でございます。

清掃組合事務事業の主なものとしたしましては、18ページ、19ページをお願いいたします。第11節需用費169万3,246円で、消耗品費、印刷製本費等、第12節役務費456万5,040円で、クリーンセンターの建物設備等の保険料等でございます。

20、21ページをお願いいたします。

第2目総務管理費でございますが、支出済額710万4,340円で、その内訳は、21ページ備考欄一番上、リサイクル啓発事業でございます。

支出の主なものとしたしましては、第8節報償費228万6,340円、第11節需用費225万3,560円、第13節委託料75万870円で、3Rの推進事業やクリーンセンターフェア開催等に要するものでございます。

第3目公平委員会費は6万3,000円で、公平委員報酬でございます。

第4目監査委員費は20万6,055円で、監査委員報酬及び事務費でございます。

第2項施設費、第1目施設管理費につきましては、予算現額16億2,643万3,000円に対しまして、支出済額は13億2,902万3,113円で、2億9,740万9,887円の不用額でございます。

その内訳は、備考欄右端一番下から2つ目、施設管理運営事業7億9,864万3,833円並びにクリーンセンター維持補修事業に5億1,446万2,280円、次の23ページ備考欄右端上、大阪湾圏域広域処理場整備事業、いわゆるフェニックス事業に873万5,000円、旧清掃工場解体事業に718万2,000円でございます。

20、21ページにお戻り願います。

施設管理運営事業及びクリーンセンター維持補修事業の主なものとしたしましては、最下段、第11節需用費、備考欄の消耗品費1億2,516万4,990円で、これは主に排ガス・排水の処理に必要な薬品類の購入費や焼却及びリサイクル設備の経年劣化に伴い交換する消耗品等でございます。

22、23ページをお願いいたします。

備考欄上から2つ目、光熱水費9,121万5,418円は、当センター全体の電気・上下水道等の料金で、その下、修繕料3,704万3,129円は、クレーン本体及びクレーンバケットや空調機、コンベア設備等の修理や整備点検に要した費用でございます。

第13節委託料の備考欄、施設維持業務委託料5億8,152万5,922円の主なものは、ク

リーンセンター運転管理委託に4億950万円、焼却灰等の埋立処分及び運搬委託に1億966万190円、DCS装置保守点検委託に1,995万円等でございます。

第15節工事請負費、備考欄の工事費3億1,029万2,850円の主なものは、定期点検整備工事に1億9,635万円、ペットボトルの増加に対応するため圧縮機等の増設工事等に5,827万5,000円、焼却炉附帯設備整備工事に1,680万円等でございます。

第16節原材料費、備考欄の原材料費1億6,451万3,219円の主な内容は、第1号ボイラー室第1放射室工事用材料購入に7,696万5,000円、定期点検整備工事用部品に5,811万4,287円等でございます。

次に、第3款公債費、第1項公債費につきましても、予算現額24億52万2,000円に対しまして、支出済額は24億38万1,272円で、不用額14万728円でございます。

その内訳は、備考欄右端中央、長期債元金償還事業に21億5,109万2,206円、長期債利子償還事業に2億4,928万9,066円でございます。平成9年度から平成24年度までのフェニックス事業、旧工場の煙突整備事業及びクリーンセンター建設に伴う土地、建物、設備に対する起債の元金償還及び利子でございます。

第4款予備費でございますが、当初予算額300万円に対しまして、予備費充当額はございません。

以上、歳出合計は、予算現額42億2,092万7,000円に対しまして、支出済額38億9,876万5,939円で、不用額は3億2,216万1,061円になりまして、執行率は92.4%でございます。

不用額の主なものとしたしましては、焼却炉等の運転に係る需用費で2,770万9,647円、委託料で1,860万4,578円、工事請負費で2億2,670万7,150円等でありまして、ク

リーンセンター稼働後6年が経過し、職員の技術力の向上に基づいた効率的な運転管理及び定期点検等の内容の精査によるものでございます。

続きまして、財産に関する調書を説明いたします。

26、27ページをお願いいたします。

公有財産、土地及び建物でございますが、土地は14万2,337.09平方メートル、建物は5万9,249.18平方メートルと前年度と変更はございません。

次に、28ページをお願いいたします。

重要物品調書でございます。取得価格が50万円以上の物品を掲載しておりますが、前年度より車両類が1台減少しております。これは、軽トラック1台をリースとしたことによるものです。

説明は以上でございます。何とぞよろしくをお願いいたします。

○議長（藪内留治君）

ただいまの提案理由の説明に対する質疑に入ります。質疑はありますか。明石議員。

○9番（明石輝久君）

21ページ、リサイクル啓発事業についてお伺いします。

この実施状況をまず教えていただけますか。

○議長（藪内留治君）

事務局次長。

○事務局次長（山口 強君）

主に、7月初旬に両市とともに組合のほうで行っておりますリサイクルフェア、それから年間を通して、一般というんですか、市民の方々を対象にした、いわゆる啓発推進の各種教室、講習事業、それから夏休み中の子どもさん、生徒さんに対する3Rの推進の講座事業、こういうものが主なものでございます。

○議長（藪内留治君）

明石議員。

○9番（明石輝久君）

参加人数はどれぐらいですか。

○議長（藪内留治君）

事務局次長。

○事務局次長（山口 強君）

ちょっと詳しい内容のほうはお待ちいただきまして、恐れ入りますが、すぐ用意いたします。

○議長（藪内留治君）

暫時休憩します。

午後2時14分休憩

午後2時16分再開

○議長（藪内留治君）

会議を再開します。

事務局次長。

○事務局次長（山口 強君）

大変失礼しました。

24年度のクリーンセンターフェアの来場者につきましては631名、それから3Rの体験教室、先ほど申しましたいろいろな講座等でございますが、24年度は54回の開催で延べ278名、それから小学生の社会見学等、これにつきましては24年度で、岸和田・貝塚両市で31校で2,942名です。

以上です。

○議長（藪内留治君）

明石議員。

○9番（明石輝久君）

出していただいた数字を見て、これを多と見るのか少ないと見るのかというのはあるんですけども、清掃工場としてのリサイクルの啓発事業の目的からいって、今の現況でいいとは思ってないやろと思うんですけども、今後も含めて、これをどう広めていくのかという方向性というのはどのよ

うに考えられてますか。

○議長（藪内留治君）

事務局次長。

○事務局次長（山口 強君）

啓発事業は、もちろん私ども、中間処理、ごみの焼却という施設として独自に3R啓発事業を行っております。先ほど申しました事業が主なものでございますが、これにつきましては本来、構成市であります岸和田・貝塚市のごみの収集の啓発担当、これにつきましても各市として独自の啓発をされておりますので、今後も3者が収集、それから焼却のほう、共同して啓発に取り組んでいきたいと、こう思っております。

○議長（藪内留治君）

明石議員。

○9番（明石輝久君）

3者でこれから努力していただくと。特にリサイクルということで、長い間、両市でも分別収集したりですね、市民が相当努力をされて、ごみそのものの量も減ってきてるわけですけども、それと同時に、今、事業系のごみの問題が、やっぱりごみ質からいうと、市民が分別してやってるものと比べていろいろ課題があるんじゃないかなというふうに思ってます。

そういう点で、いわゆるリサイクルの啓発事業、一般の市民対象、それから学校とかそういう教育関係の対象、全ての含んだフェアというようなことでの実施、非常にありがたいと思うんですけどね、やっぱりある意味、ここに事業者が抜けてるといのは、実際抜けてないんやろと思うんですけども、2市とここの清掃工場と含めて、啓発なりというのは、事業者にも一緒にやってもらうということではなかったら、やっぱり本来のごみのリサイクル等々も含めて完璧じゃないなど。完璧というのがどうなのか別ですけども、そこにやっぱり問題が

あろうかなど。

せっかくやるこういう啓発事業ですんでね、事業者にも努力をしていただいて一緒にやっていただくとか、いろんなことを考えていくべきやなというふうに思うんですけど、その点を聞かしていただけますか。

○議長（藪内留治君）

事務局次長。

○事務局次長（山口 強君）

今議員さんおっしゃる市内の事業者に対する収集は、各市の許可業者のほうで行ってるんですが、私ども施設組合のほうも、いわゆる3者会議というので、両市の収集担当課と、それから私ども組合とで、3者で月1回定例でいろんな問題、課題について協議をしております。

その中で施設組合としても、いわゆる事業所からのごみのものにはいろいろチェックをしておりますが、そこら辺はその3者会議において、市内の事業所のごみの収集許可業者、これに対する指導は各市、それぞれの市の収集担当課が担当でございまして、その問題を3者協議で話して市のほうで取り組んでいただいている、また指導とかそういうことをしていただいている、こういう状況です。

○議長（藪内留治君）

明石議員。

○9番（明石輝久君）

聞いているのは、いわゆる指導課かな、それは当然やってもらわんといかんことやと。ただ、こういうごみの啓発とか、ごみを減らそうとか、分別を進めようとかいう場合に、事業者を取り締まるというような観点だけじゃなしに、市民と一緒にあってこういう方策を推進しようというようなところにぜひ参加してもらって、一緒になって減らしていくというようなことを、やっぱりともに考えるべき違うかなというふうに思

うんです。

そういう点からいうたら、柱の1個がリサイクルの啓発事業の中に、完全に抜けてるとは言いませんけども、やはりそこを加えてやっていくほうが、より進むんじゃないかなというふうに考えてます。そういう点での考え方をお聞きしてるんですけども、その点についてはどうでしょうか。

○議長（藪内留治君）

事務局次長。

○事務局次長（山口 強君）

ごみの減量を進めるということで、3R、分別収集を進めるということは、おっしゃるとおり大事なことでございまして、今も両市とともに取り組んでおります。先ほど申し上げましたように、3者会議の中で、いわゆる事業所の収集をするのは許可業者でございまして、市のほうでそこら辺は取り組みは一緒にやっていただくようにするのが、そういう分野であると考えております。

○議長（藪内留治君）

明石議員。

○9番（明石輝久君）

もう何回も言いませんけど、言っときますけどね、やってることはわかってるんですよ。もう一つ輪を広げて、一緒に減らそうというような、祭りなりなんかはできないかと言うてる。それだけです。

議長、よろしいか、もう一言。

こういうことも含めて今後考えられるんやったら、答がすぐ出ないんやったら別に構わないんです。だから、一つの考え方として、やっぱり聞き置いてもらうということで、どうですか。

○議長（藪内留治君）

事務局次長。

○事務局次長（山口 強君）

議員さんのおっしゃってるとおりと思う

んですけども、施設組合、これはごみの焼却の施設でございますので、今言う収集とか、事業所に対する指導、協調してやっていくというのは両市の分野、こういうことでございます。

○議長（藪内留治君）

明石議員。

○9番（明石輝久君）

これ以上やりませんが、もちろんそのとおりなんです。だから、3者で協力して、全体としてこういうお祭りをやったりいろいろやるんやから、市内の事業者なんかにも働きかけをして参加していただくとか、いろんな減らす方向というのは、単にここだけで考えろと言うてるんじゃないんでね、そのことも含めて可能性はないんですかと聞いている。

○議長（藪内留治君）

事務局次長。

○事務局次長（山口 強君）

私も何遍もで申しわけないんですが、3者会議でそのほうは、先ほど言うてますように、協議しております。市内の事業所の収集は許可業者でございますので、そこら辺イニシアチブをとるべきところは両市でと、こういうふうに考えております。

○議長（藪内留治君）

暫時休憩します。

午後2時26分休憩

午後2時26分再開

○議長（藪内留治君）

会議を再開します。

管理者 野口 聖君。

○管理者（野口 聖君）

先ほど事務局次長から申し上げておりますが、やはり議員さんの言うてることもわかっておりますので、3者会議の中で十分

協議して、その方向で進めていきたいと、こんなふうに思っております。

以上です。

○議長（藪内留治君）

他にありませんか。

〔「なし」の声あり〕

○議長（藪内留治君）

質疑なしと認めます。

これより討論に入ります。討論はありませんか。

〔「なし」の声あり〕

○議長（藪内留治君）

討論なしと認めます。

これより認定第1号を採決いたします。

本決算は、これを認定することに決しましてご異議ありませんか。

〔「異議なし」の声あり〕

○議長（藪内留治君）

ご異議なしと認めます。よって、平成24年度決算は認定されました。

○議長（藪内留治君）

以上をもちまして、本定例会の日程は全て終了いたしました。

各案件につきまして慎重にご審議賜り、厚くお礼申し上げます。

ここで、管理者からご挨拶を申し上げたいとの申し出がありますので、発言を許します。管理者 野口 聖君。

○管理者（野口 聖君）

発言のお許しをいただきましたので、一言ご挨拶を申し上げます。

初めに、今期定例会にご提案申し上げました議案につきまして、ご審議の上、ご議決を賜りまして、まことにありがとうございました。

私の岸和田市長としての任期が12月14日をもって終わりますので、岸和田市貝塚市清掃施設組合の管理者も、同日をもって退任することとなります。

今期定例会は、緊急の事案がない限り、管理者としての最後の議会となりますので、この機会に一言御礼を申し述べさせていただきます。

私は、管理者として合わせて4年間、岸和田市・貝塚市における快適な生活環境の保全と公衆衛生の向上を図るため、安全・安心を第一に、新たに整備したクリーンセンターの適切な管理運営に努めてまいりました。

この間、廃棄物を適正かつ安全に処理することができたのも、ひとえに議員各位を初めとして、職員の皆さん、そして両市の市民の皆様のご理解とご協力のおかげと、心から深く感謝を申し上げます。

今後とも、施設組合と岸和田・貝塚両市が一体となって、さらなる資源循環型社会の形成に取り組み、29万市民の健康で文化的な生活の確保に寄与されることを願っています。

最後に、議員各位のこれまでのご厚情に対しまして、改めて深く感謝を申し上げますとともに、今後ますますのご健勝、ご活躍を心からお祈り申し上げます、私からの御礼のご挨拶とさせていただきます。

本当にありがとうございました。

○議長（藪内留治君）

これをもちまして、平成25年第3回岸和田市貝塚市清掃施設組合議会定例会を閉会いたします。

ご苦労さまでした。

午後2時29分閉会